

令和 5 年 10 月 26 日

内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」第 3 期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に本学の提案「交流の場が集積する新モビリティ指向型都市の開発～モビリティのり・デザインによる 15 分都市の実現～」が採択されました

内閣府が実施し、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が管理する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 3 期『スマートモビリティプラットフォームの構築』に、本学の提案が 2023 年 10 月 6 日に採択されました。本事業は、モビリティサービスの再定義と社会実装に向けた戦略策定を進めるとともに、インフラのり・デザインに向けた研究開発を進め、安全、快適、活気あふれる交通インフラ技術の開発、モビリティサービスを支えるデータ基盤の構築等を実施するものです。

本課題『スマートモビリティプラットフォームの構築』には、31 件の提案があり、本学のほか東北大学、京都大学など計 15 件が採択されました。今回の提案は本学、東京大学、呉工業高等専門学校、（株）バイタルリード、パシフィックコンサルタンツ（株）の 5 機関による共同提案で、5 年間で約 4 億 5 千万円の予算が配分されます。

本提案は、少子高齢化、人口流出、労働者不足、外出機会の減少などの地方が抱える共通課題を突破するため、知能が集積する大学城下町「東広島市」をモデルに都市空間やモビリティサービスのあるべき姿を描きます。

研究テーマ：交流の場が集積する新モビリティ指向型都市の開発
～モビリティのり・デザインによる 15 分都市の実現～

研究統括責任者：藤原章正（ふじわらあきまさ 広島大学・IDEC 国際連携機構・教授）

研究開発課題：

- ・ MOD の開発のためのまちぐるみシミュレータ
研究開発責任者 ちからいし まこと 力石 真（広島大学・大学院先進理工系科学研究科・教授）
森山昌幸（（株）バイタルリード・代表取締役）
- ・ MOD の開発のためのり・デザイン
研究開発責任者 神田佑亮（呉工業高等専門学校・教授）
- ・ MOD の開発のためのインフラ協調技術の仕様抽出
研究開発責任者 須田義大（東京大学・生産技術研究所・教授）
- ・ MOD の開発のためのデジタルツインサンドボックス
研究開発責任者 藤原章正（広島大学・IDEC 国際連携機構・教授）
渡邊 健（パシフィックコンサルタンツ（株）社会イノベーション事業本部交通政策部・チーフコンサルタント）

【お問い合わせ先】

担当：広島大学 IDEC 国際連携機構・渡邊
TEL：082-424-4314
E-mail：contact@its.hiroshima-u.ac.jp